

第 84 号

発行
 〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3
 (公社)いわき市シルバー人材センター
<http://www.silver-brain.com/fukushima/iwaki>
 広報委員会
 TEL 0246-22-1722
 FAX 0246-22-1752



設立 40 周年記念 安全・適正就業推進大会



瀬谷洋子 会員 作品



水彩画「松ヶ岡公園」 野崎政吉 会員 作品



体験就業 21世紀の森公園

公益社団法人 いわき市シルバー人材センター **会員心得**

1. わたしたちは、シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。
2. わたしたちは、豊かな経験と能力を生かして仕事にとりくみます。
3. わたしたちは、誠心誠意仕事にとりくみます。
4. わたしたちは、社会参加に喜びと生きがいを求めます。
5. わたしたちは、健康と安全に留意します。
6. わたしたちは、会員相互のふれあいを大切にします。

令和4年度事業計画

(3月15日理事会にて決定)

■基本方針

わが国経済は、長引く新型コロナ

ウイルス感染症の感染拡大の影響等により、低調な状況が続いています。各種政策、感染予防対策の効果や海外経済の改善等もあり持ち直していくことが期待されていますが、内外の感染拡大、原材料価格の上昇等による下振れリスク、金融資本市場の変動の影響もあり、依然として不安要因を抱えている状況にあります。一方、雇用情勢は急速な少子高齢化による人口減少社会の中、65歳以上の高齢者人口は、令和3年9月の推計では3,640万人、総人口比で29・1%と更に超高齢社会になっており、定年延長や継続雇用制度等も定着してきましたが、現実には更なる労働力人口の減少が懸念されており、高齢者への労働能力をいかに有効活用するかが、国を挙げての重要課題となっております。

このような状況の下、「生涯現役社会」を目指して、元気な高齢者が活躍するシルバー人材センター事業が果たす役割は、ますます重要で、市民の期待も増しております。

しかしながら、国の行財政改革による、運営費補助金の削減や自然災害と経済不況に伴う受注減、労働環境の変化、コロナ禍による会員数の減少等、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然、厳しい状況にあります。

こうした現状を克服するためには、更なる自助努力が必要であり、公益社団法人として真に地域社会に愛され、信頼される団体となるため、公益性のある事業展開を念頭に組織体制の強化とともに会員増強、就業機会の拡大を積極的に図る必要があります。

いわき市をはじめ関係機関の支援と協力を得ながら、会員、役職員が一体となった連携を更に強化し、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、安全・適正就業を基本に更なる事業の基盤拡大と充実発展に努めます。

事業実績目標

- (1) 会員数 一、二〇〇名
- (2) 受託件数 六、〇〇〇件
- (3) 就業延人数 九五、〇〇〇人日
- (4) 契約金額 五〇〇、〇〇〇千円

事業実施計画

一、組織体制の強化

公益社団法人として組織体制を更に強化するため、センターの自主性・主体性を基本に理事会をはじめ班長会議、各種委員会、地区班会議等の有機的な活動の推進を図りながら、より公正で公平な事業運営に努めます。また、いわき市、県連

合会、ハローワーク等、関係機関との連携も密にし、地域社会のニーズに応え、信頼を高めるため、会員の就業意欲と共働・共助の連帯意識のもと、会員相互の親睦と融和を図りながら組織の強化に努めます。

二、安全就業の徹底

新型コロナウイルス感染症の予防対策を図りながら、基本となる安全就業を全員で認識し、事故の皆無を目指し、組織

を挙げて取組みます。「安全は全てに優先する」を念頭に、具体的な事故防止対策の策定と事故を未然に防ぐため、安全就業遵守事項の徹底、安全・適正就業委員会、安全就業推進員、安全パトロール指導員を中心として定期的な就業現場視察、就業時の安全一声運動等による注意喚起を積極的に推進します。また、会報等による啓発とともに、刈払機取扱会員講習会の受講義務付け、各種安全講習会等による安全就業の意識、健康診断の受診促進等による健康意識の高揚に努め、安全就業の徹底を図ります。

三、適正就業の推進

受注内容及び会員の就業形態に係る法令順守を基本に、適正就業ガイドラインを踏まえて、公平な就業機会の提供を前提として、就業の分ち合いにより多くの会員が働く喜びと生きがいを感じられるよう、「就業基準に関する要綱」を基本として、ホームページ等での就業情報の公開、ローテーション就業の推進と就業参加の呼掛けを積極的

に行います。また、今年度も就業率の向上のため未就業会員の体験就業並びにアンケート調査等を実施しながら、働く喜びを享受できるように適正就業の推進に努めます。

四、福祉・家事援助サービス事業の推進

超高齢社会が進展する中、福祉・家事援助サービス事業の需要が年々増加してきている現状を踏まえながら、受注体制の強化のため、実践に即した講習会を実施すると共に、発注者、就業会員の多様なニーズを的確に把握し、希望に合った仕事の紹介に努めます。

福祉・家事援助サービス事業の充実のため、「福祉の受け手から担い手」を目指して、特に女性会員の拡大、育成を図り、センターの役割を十分検討しながら少子高齢社会に対応すべく積極的な事業展開を図ります。

五、会員拡大の強化推進

センター事業の根幹をなす会員数を確保するため、高齢者の雇用情勢を見極めながら、今年度も会員拡大を最重要課題と

し、減少傾向にある会員数を増加させるため、入会説明会（原則月5回）の充実を図ると共に、会員増強奨励制度による口コミの強化、街頭啓発活動等による積極的な入会促進活動を実施し会員拡大を推進します。多種多様な就業依頼に常に対応できるように、センター理念に賛同し、自己の知識・経験を活用し、就業を通して社会参加と生きがいづくりを希望する、より多くの健康で働く意欲と能力のある会員の確保に努めます。併せて積極的な就業呼掛け等により退会抑止に努め、会員拡大を推進します。

六、各種技能講習会の充実・強化

好評を得て、受注量が増加している技能職群、襖張替え、植木剪定、筆耕等の仕事にスムーズに対応できる体制を更に強化するため今年度も技能職群の就業会員育成を目的とした技能講習会の充実を図るとともに、発注者や利用者等により満足いただけるよう接遇研修等、目的に沿った各種講習会も積極的に開催します。また、県連合会との連携を図りながら高齢者就業拡

大支援事業、高齢者活躍人材確保育成事業の技能講習も実施します。

七、普及啓発活動、就業機会開拓の推進

シルバー人材センター事業を地域社会に広く理解・浸透させ事業拡大を図るには普及啓発活動は大きな役割を果たします。今年度も高齢者就業拡大支援事業によるマッチング支援員の活動と併せ、センターのホームページによるPR、会報、リーフレットの有効活用、街頭啓発活動の実施等、様々な機会を通じて普及啓発に努め、関係機関との連携を図りながら、企業、各種団体、個人家庭へのPR活動を強化し、普及啓発活動を推進します。また、就業機会の更なる拡大のため、会員、班長、役職員が一丸となり積極的に就業機会の掘り起しに努めると共に、役職員による事業所訪問等を実施し就業機会の開拓推進に努めます。

八、多様化する就業形態への対応

労働力人口の減少もあり高齢者の雇用情勢は法律改正を受

け多方面で変化が見られ、センターで扱う就業形態も従前からの請負・委任による就業はもとより臨時的・短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業等、より多様化してきております。高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の拡大を図り、会員と発注者のニーズを的確に把握しながら、仕事の量的確保、拡大を図るため、労働者派遣事業、職業紹介事業にも積極的に取り組みます。

九、地域社会への貢献と共存

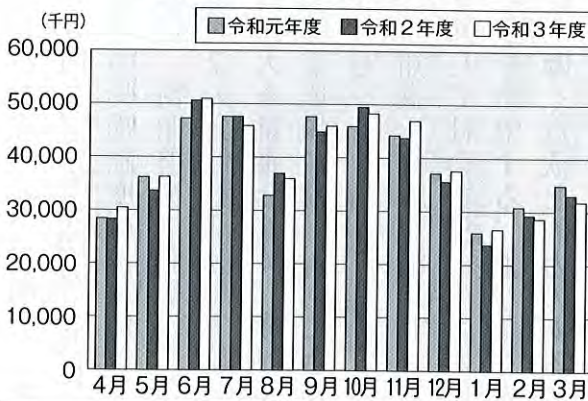
公益社団法人として真に信頼され、親しまれるセンターとなるためには、地域に根ざした協力、協調関係が何にもまして重要であり、共存、共栄の立場から地域あつてのセンターを念頭に感謝の心を持って、今年度も公益目的事業の一端として市内3ヶ所でのゴミ拾い清掃の地域美化奉仕作業、サンシャインマラソンのボランティア参加等の活動を継続し、会員作品展示会等の文化活動も積極的に実施しながら地域社会への貢献と共存を図ります。

令和3年度事業実績速報

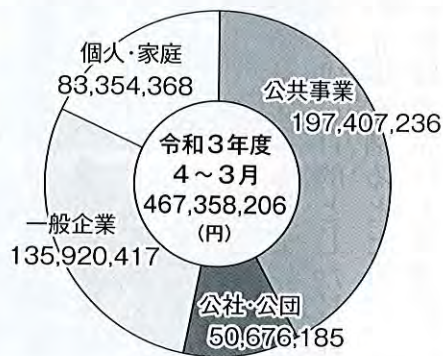
令和3年度事業実績（4月～3月）を見ますと、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、景気の持ち直しの動きもありますが、依然として低調な経済状況下、会員各位のご努力、市当局並びに関係機関のご協力により事業運営は順調に推移しました。契約金額は前年度2.1%増となりました。内訳を見ますと公社・公団からの受注は減りましたが、公共事業・個人家庭を含めた民間からの受注はコロナ禍にもかかわらず受注が増えました。一方、令和3年度の労働者派遣事業による実績（契約金額16,461千円）は前年度比で12.5%減となっております。



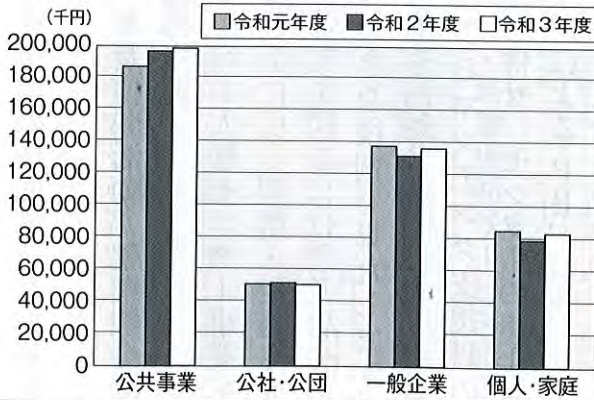
年度別・月別契約金額



令和3年度発注者別契約金額



年度別・発注者別契約金額(4～3月)



地区別会員数 (令和4年3月末現在) (人)

地区	男	女	計	地区	男	女	計
平	228	88	316	小川	27	8	35
小名浜	175	37	212	久大	13	2	15
勿来	130	45	175	三和	28	11	39
常磐	103	30	133	遠野	16	6	22
内郷	57	14	71	田人	10	3	13
四倉	44	24	68	川前	3	2	5
好間	38	13	51	合計	872	283	1,155

インボイス(適格請求書等保存方式)について

会員の皆様が請負いや委任形式で働いて得た収入は主に「配分金」といい、消費税(10%)が含まれています。本来なら会員の皆様は「個人事業主」として就業しており、受け取った配分金にかかる消費税は税務署に申告納税の必要がありますが、税法上、課税売上金が年間一、〇〇〇万円以下である為免税事業者として取り扱われております。しかし、令和5年10月にインボイス制度が導入される予定です。受け取った消費税の扱いについても変わっていく可能性があります。現時点ではまだ不明な点がある為制度がはつきりした時点で皆様へお知らせいたします。

令和4年度 定時総会のご案内

日時 6月17日(金) 13時より

場所 いわき市文化センター
詳細は後日、全員にご案内いたします。

こちら取材班!



今回取材班は、平字梅本にある株式会社青葉を訪ね、シルバー人材センター

ター会員の皆さんの就業状況を取締役の伊藤昭彦様にお伺いいたしました。

Q シルバー人材センターにはどのような仕事を依頼されていますか。

A 当社は、建設資材の販売・リースの会社です。以前、シルバーさんに介護の際の家事手伝いをお願いしておりました。今回は、地震により家屋がかなりの被害を受け、解体する前の仕分け作業をお願いしています。

Q 仕事ぶりはいかがでしたでしょうか。
A とても良い方を紹介していただいたと感謝しています。週に3日お願いしています。ご夫婦共に働き者で、こちらが指示する先、先を考えて動い

てくれますので、仕分けもとてもはかどっています。この調子でいくと、来月の中旬には終わり解体業者に引き継ぎできそうです。

Q シルバー人材センターのイメージはどうでしょうか。

A 良いイメージしかありません。前回の家事手伝いの方もそうでしたが、皆さん元気で生き生きしています。こちらの方が元気づけられます。

Q 今後、シルバー人材センターに期待すること等、お聞かせください。

A 皆さんいつまでも元気でがんばっていただければと思います。高い専門のスキルを持つ方も多いため、それを生かしながら生きがいを見つけてほしいです。

◎ご多忙のところ、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。末長くご愛顧をお願いいたします。



リレー紹介

遠野町班 佐川 敏行

福島県指定天然記念物となっている八坂神社の二本スギを紹介いたします。

このスギは、入遠野字天王にある八坂神社社殿の西側に立つ2本の大スギです。現地にある県指定時の昭和36年3月22日に設置した銘板によれば、北側の1本は根周り9メートル、目通り幹周り6メートル高さ36メートルあり、これに接した南側の1本は少し小さく、根回り8・6メートル、目通り幹周り6メートル、高さ33メートルであり2本とも樹勢はよく、しかもこれほどの大木が2本並んで立っているのはめずらしいと、県教育委員会が記しております。

遠くから神社境



おぼろげ班自慢



内の森を見てもこの二本スギは他のスギより一段高く見えるにもかかわらず未だ、落雷がないのもめずらしい大スギです。

文献によれば杉(スギ科スギ属)の名前は、「直ぐ木」(真つ直ぐな木)からついたといわれ、木目が真つ直ぐに通じ、割り易かったことなどから、工具が発達していない昔から木材として利用されていて全国の遺跡からも発掘されていると言われています。会員の皆さんも、入遠野にこられた時は是非お寄りください。

講習会実施報告

(公社)いわき市シルバー
人材センター主催

◆接遇マナー講習会

日時 1月14日(金)
会場 当センター会議室
内容 主に草刈り就業者を対象とした接遇マナー講習
講師 ニチイ学館いわき支店 鈴木まゆみ氏 志賀 久美氏
参加者 12名

◆クロマツ剪定講習会

日時 (座学) 2月16日(水)
(実技) 2月17日(木)
会場 いわき市総合運動公園
内容 クロマツ剪定における知識と技術について
講師 (有)箱根ランドスケープ 代表取締役
(センター専任講師)箱根 保光氏
参加者 座学19名 実技19名



クロマツ剪定

◆刃物研ぎ講習会

日時 3月18日(金)
会場 当センター会議室
内容 刃物研ぎの方法と技術について
講師 熊谷 智之会員
受講者 会員10名



刃物研ぎ



体験就業



◆体験就業

今年度の未就業者を対象に、屋外作業を実施。四回実施の予定が雨のため二回に一回目

日時 3月24日(木)
場所 東田墓園

内容 清掃作業
参加者 25名

二回目

日時 3月25日(金)

場所 21世紀の森公園

内容 清掃作業
参加者 20名

各種講習会のご案内

令和4年度の講習会のご案内です。コロナの影響により日時・会場等変更の場合があります。

I 技能講習

講習会名	日数	募集開催予定 延人員時 期
刈払機安全衛生 (特別教育)講習	2	8月・1月
刈払機取扱者講習	1	30
筆耕	1	20
刃物研ぎ	1	20
接遇	1	30
刈払機メンテナンス	1	30
黒松剪定	2	40
襖・障子張替え	4	36
雑木の剪定	1	40

II 福祉・家事援助サービス講習

講習会名	日数	募集開催予定 延人員時 期
調理実習	1	20
介護講習	1	25
清掃講習	1	30

希望者は、事前に申し込みし、ご確認ください。日程等が決まり次第、申込者だけに通知します。(定員を超えた場合は、抽選となります)

(事務局 22・1722)

事務局だより

◆記帳名称の変更について

配分金の受取口座が「ゆうちょ銀行」の皆様にはお気づきのことと存じますが、今まで通帳には「配分金」と記入されていたのが、3月より「給料」と記入されております。これは配分金の振込手数料の関係からJAバンクを経由することによるもので、シルバー人材センターと金融機関の振込契約であって、今まで通りの「配分金」ですのでご理解をお願いいたします。また、「JA福島さくら農業協同組合」についても配分金の受取口座として利用できることとしました。口座変更を希望される方は、ご連絡ください。

緊急連絡先

080-6025-8892
(小松事務局次長)
080-6025-8903
(加藤業務係長)

〈就業情報のホームページ掲載のお知らせ〉

当センターのホームページで就業情報の掲載を開始しました。ご確認頂き、もしご希望のお仕事があればご連絡ください。

安全・適正就業委員会から

「安全はすべてに優先する」

人は、生まれて40歳になったとき、どんな良い事がありどんな悪いと思う事があるのだろうか。

いわき市シルバー人材センターも、設立して40年を迎え、令和4年1月21日に、文化センターで「安全・適正就業推進大会」が開催されました。タイムミングが悪い事に、新型コロナウイルスの感染拡大により、会員全体の大会とはなりません。た。シルバー40年を振り返る機会がありませんが、延べ何人の会員が登録されていたのか、どんな良い事があり悪い事があったのか、ここ3年間コロナウイルスに悩まされ運の悪さを感じます。

シルバー会員登録をしますと、「会員心得」という6項目の約束事があります。1つは、

シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。以下豊かな経験と能力を生かして仕事に取りくみます。誠心誠意仕事に取りくみます。社会参加に喜

びと生きがいを求めます。健康と安全に留意します。会員相互のふれあいを大切にします。の6項目です。

この事を踏まえ、安全・適正就業推進大会で誓いを立てました。「私達は、シルバー人材センター事業の理念である・自主・自立・共同・共助の精神に基づき、健康で働ける喜びを感じながら、誠心誠意就業に励んでおります。私達は、シルバー人材センター事業の発展と、就業を通じての生きがいの充実を図り、地域社会の発展の為、いわき市シルバー人材センター会員1人ひとりが、就業規約並びに安全就業基準を遵守し、無事故・無災害に取り組み、事故防止に万全を期する事を、ここに誓います。」

以上のように皆さんで誓いあって、いわき市シルバー人材センターが益々輝いていきたいと思えます。

(安全・適正就業委員長

中島 喜二)



◆地区班会議中止に

コロナの影響で中止せざるを得ませんでした。班長選出については、特例として現班長の任期を延長させていただきます。

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。四倉3班 猪又 勝雄殿(12月)

班長紹介

(敬称略) 令和4年4月1現在

Table with 6 columns: 班名, 氏名, 班名, 氏名, 班名, 氏名. Lists names and IDs for various classes.

○印は新班長

▶シルバーの未来を拓く…安全就業◀

カメラ 銀の汗!



〈公民館清掃〉

動けるうちは働こうと思い、コロナ禍ではありましたが、仕事を始めて3日目。利用者さんたちとのふれあいを楽しみに、気持ち良く使っていただくよう、心掛けています。

(緑川ミヨ子 会員)



〈表彰状全文書き〉

書き文字風の印刷も増えています。少し味気ない。依頼は市関係、学校、一般企業と多いです。気に入った文字を書くようにしていますが、なかなか難しい。一生勉強ですね。

(浜松 正猛 会員)



〈室内片付・清掃〉

今日が初日なので緊張しましたが、やさしく教えて頂き感謝です。喜んでもらえることが1番なので、がんばりたいと思います。

(大平敬司郎・トシ工 各会員)



〈自転車駐車場管理〉

早番、遅番2人1組のローテーションでの駐輪場管理です。整理整頓を心掛け、盗難防止にもつながるあいさつ、声掛けをしながら、日々勤めています。

(伊藤・赤津・菊地・佐藤 各会員)



〈墓地清掃〉

私の場合、個人宅の依頼を、シルバー人材センター経由で4件受け持っています。月1回という方や、年3回という方、いろいろです。喜んでもらうのが1番なので、心を込めてきれいにしています。

(草野 安治 会員)



〈庭木の剪定〉

自分の安全対策はもちろん、防護ネット等は使いやすいように自分で作り、きれいに早くをモットーに、お客様に喜ばれることを1番に考え作業を行っています。

(高木 定美 会員)

◇ ありがとう ◇

野山も賑やかになり過ごしやすい季節になりましたが、今年はその中が騒々しく、心浮き立つ日々とはいかないようです。そして物価の値上がりも。高い物に行くたびに「あら！高くなってる」これも、あれも「これがまだまだ続くらしいですからやりきれませぬね。」

ところで5月から75歳以上の免許更新が変わるのをご存知でしたか。今までの「実車講習」がこれからは真正正銘の「試験」になります。試験に受からなければもちろん免許更新はできません。ただし試験は全員ではなく、過去3年一定の交通違反のある人だけだそうです。皆様ひと安心なさいましたか。常日頃安全運転を心がけて試験を受けることのないようにしましょう。

安全教室という昔は「高齢者は事故に気をつけて」だったのに今は「事故を起こさないようにしましょう」が主になったように思います。

山本 禎子